

中四国地域における県統合による地域経済の安定性の効果

岡山大学大学院社会文化科学研究科 教授 中村良平

(主要目次)

- ・ 経済成長と安定性
- ・ ポートフォリオ理論
- ・ 地域ポートフォリオ
- ・ 地域統合の実証分析
- ・ 地域経済の安定性の分析
- ・ 中四国の県統合の効果
- ・ 道州制への含意

(研究報告書のポイント)

本研究では、地域経済（成長）の安定性の面に焦点を当て、道州制の区割りを念頭に置いたいくつかの都道府県統合パターンによって、地域経済の安定性がどのように変化するか、ポートフォリオ理論を応用して分析することにより、道州制による経済的变化をみる。

- **経済成長率と安定性の関係について**、いかなる地域（都道府県）においても、自地域のより高い経済成長率を政策目標にかざすことは当然であるが、成長率の大きさだけに着目したのでは、その背景にある成長経路の違いによる経済発展の安定性を見落とすことになる。成長率が同じ水準であれば、より安定した成長経路をたどる経済構造を持つ地域の方が望ましいと考えられる。
- 都道府県別の付加価値生産額データを用いて、成長率の水準（成長）や安定性（循環、景気変動）の指標を基準にして県同士の統合における効果について、ポートフォリオ理論を応用して考察を行った。
- 中四国の各県をみると、成長率（リターン）の高さ、成長安定性（ボラティリティ）の低さとともに全国平均値を上回っているのは、島根県と徳島県の2県のみである。
- 地域の組合せがどのような地域経済の安定性をもたらすかをみると、中国5県から中国州となった場合も、四国4県から四国州となった場合も、経済成長に関する安定性は改善となり、中国州と四国州を合わせた中四国州となった場合、安定性の程度は、合併前の中国州、四国州のいずれをも上回る水準となる。
- 都道府県の組合せによる成長率と成長安定性を求めた結果によると、中四国は中国地方と四国地方を統合すると東北地方と同程度の成長率と成長安定性の状態となる。また、中国・四国の統合で中四国になることによって、北東北と南東北の統合での東北地域や北九州と南九州の統合で九州地域となる場合に比べて、最も成長率が上昇し成長安定性の上昇が大きいことが分かる。